

2022年11月15日

三井住友信託銀行
年金業務推進部

INDEX

社会保障審議会企業年金・個人年金部会(第19回)の開催について

社会保障審議会企業年金・個人年金部会(第19回)の開催について



POINT

- ✓ 11/14に開催された同部会では「私的年金制度(企業年金・個人年金)の現状等」及び「私的年金制度(企業年金・個人年金)の今後の課題」をテーマに、各委員から「iDeCoの加入可能年齢引上げ」をはじめとして、今後の議論の論点について意見が出されました。
- ✓ 引き続き同部会の動向を注視してまいります。
- ✓ 本件に関して特段ご対応いただく事項はありません。

- 2022年11月14日「第19回 社会保障審議会企業年金・個人年金部会」が開催され、「私的年金制度(企業年金・個人年金)の現状等」「私的年金制度(企業年金・個人年金)の今後の課題」が議論されました。
- 「私的年金制度(企業年金・個人年金)の現状等」および「私的年金制度(企業年金・個人年金)の今後の課題」が事務局から説明され、これを受けて各委員から今後の議論の論点について様々な意見が出されました。

主な意見は以下のとおりです。

《iDeCoの加入可能年齢引上げについて》

- 政府の「新しい資本主義のグランドデザイン及び実行計画(令和4年6月7日閣議決定)」のなかで、「現預金の過半を保有している高齢者に向けて、就業機会確保の努力義務が70歳まで伸びていることに留意し、iDeCo(個人型確定拠出年金)制度の改革やその子供世代が資産形成を行いやすい環境整備等を図る。これらも含めて、新しい資本主義実現会議に検討の場を設け、本年末に総合的な「資産所得倍増プラン」を策定する。」とされていることを踏まえ、iDeCoの加入可能年齢引上げの議論が行われました。各委員からは明確な反対意見は無かったものの、以下の留意点が示されました。
 - ・iDeCoの加入可能範囲は公的年金とセットで議論すべき
 - ・カナダの個人年金制度では加入可能年齢は働き方に関係なく一律
 - ・iDeCoの加入者は必ずしも国民年金の被保険者でなくてもよいが、国民年金の被保険者であることによる事務効率の利点も考慮すべき
- これを受けて事務局からは、実務面の調整は必要としながらも、「公的年金の上乗せ制度という枠組みは維持しながらも、例えば、一定の公的年金の加入年数があれば60歳以降もiDeCoに加入できるような仕組み等を考えていきたい」旨の発言がありました。

《各種退職金・年金制度等の簡素化、見える化について》

- 現在、退職一時金、DB、DC等成り立ちの異なる退職給付制度に加え、iDeCo、NISAなどもあって制度が複雑化していることから、国民にとって分かりづらく普及促進の妨げになっているのではないかと、そのため、制度を簡素化する、あるいは分かりやすく状況を確認できる仕組みを構築する必要がある、との意見が各委員から出されました。
 - ・運用や取り崩しを考える上でも、各種制度を総合的に管理できる仕組みが必要
 - ・制度の複雑さ、分かりにくさが特に中小企業において制度導入を躊躇する一因
 - ・制度を簡素化するとともに、各退職給付制度・iDeCo共通の非課税限度額と退職年金勘定の創設について深く議論すべき

《拠出限度額について》

- 一部の委員より、DCの拠出限度額に関する具体的な意見も出されました。
 - ・企業型DCのマッチング拠出における「事業主掛金と同額」という制限は、加入者に複雑な選択を強いているとともに、説明する事業主の負荷も高く、撤廃すべき
 - ・第2号被保険者のiDeCoの拠出限度額はその他の年金の有無に関わらず5.5万円に統一すべき

《特別法人税の撤廃について》

- 現在凍結中の特別法人税については、今後の企業年金の一層の普及促進のため、是非とも撤廃、少なくとも凍結期間は延長すべきという意見が複数の委員から出されました。

《その他の論点》

- その他、各委員から出された主な論点は次のとおりです。
 - ・独立アドバイザーの制度化については厚生労働省と金融庁で連携して検討すべき
 - ・中小零細企業の従業員やパート・有期雇用労働者の企業年金制度への加入が課題
 - ・DBとDC、DCの企業型年金とiDeCoはその成り立ちから性質が大きく異なる制度であり、画一的なルールを嵌めることは慎重に議論すべき
 - ・DCにDBのような「集団運用」を導入すればリスク許容度を上げられるのではないか
 - ・これまでの法改正で実施された指定運用方法や運営管理機関および商品のモニタリング等の効果を検証した上で、さらなる企業年金のガバナンス強化を検討すべき
- 最後に事務局より、まずは年内に資産所得倍増プランを踏まえたiDeCoの制度改革を中心に議論を進め、年明け以降さらに本日の議論を踏まえた論点整理、洗い出しを改めて行った上で議論を進めていきたい、との考え方が示されました。
- なお、次回開催は各委員の予定を調整の上、別途決定されるとのことです。

(ご参考)

- ・ [第19回「社会保障審議会企業年金・個人年金部会」の開催について\(ペーパーレス開催\)](#)
- ・ [資料](#)

<本件のご照会先>

ご照会事項がございましたら弊社営業担当者までご連絡ください。



[年金ニュース
バックナンバー](#)
(↑クリックで表示)

[ペンションジャーナル
マーケットコラム等](#)
(↑クリックで表示)

[三井住友信託銀行
公式HP](#)
(↑クリックで表示)